

縄文時代とはどんな時代かわかりやすく解説

縄文時代小学校の教科書ではどう書いてある？

教科書の説明

青森県にある三内丸山遺跡では、今より5500年前から1500年のあいだ人々が暮らしていた跡が発見された。

人々は竪穴住居に住み、狩や漁、木の実を採集して暮らしていた。

土器を使って食べ物を煮たり蓄えたりした。

このように狩や漁をして、縄文土器を使っていた時代を縄文時代という。

縄文時代は今から1万2000年ほど前に始まって、1万年近く続いた。

縄文時代ココがピンとこない！

●いきなり縄文時代から始まるけど、その前は？

日本人ってどこから来たの？

●土器って重要な？何のために作ったの？

●縄文時代とか弥生時代とか、なにが違うのかピンと来ない！



縄文時代より前は？日本人はどこからやってきたの？

日本人は大陸から歩いてやってきた！

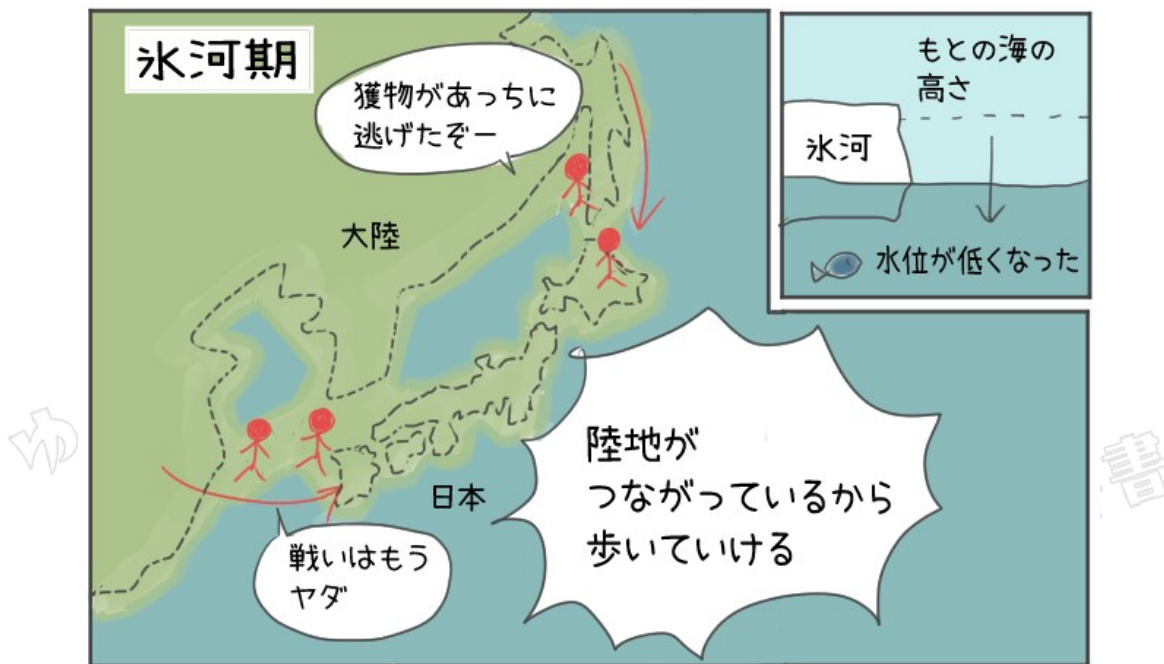
日本人はどこからやってきたか知っているかな？

今は日本は「島国」だよ。つまり、周りは海で囲まれていて、他の大陸へ行くには船や飛行機が必要だね。

でも、大昔のすごく寒い時期（氷河期）に海の水が凍ってしまって、凍ったぶん、海の高さがぐぐっと低い時があったんだ。

その時は大陸（ロシアや中国がある大きな陸地のこと）とつながっていたんだよ。

そして人類は大陸から歩いて日本へやってきたんだ。



こういうワケだった！

- 大昔、日本と大陸はつながっていた！
- 大陸からヒトが日本へ歩いてやって来た！



縄文時代より前は「旧石器時代」だった

縄文時代より前、日本人が大陸から日本へやってきた頃のことは、「旧石器時代」と言うんだ。

旧石器時代は、「石のオノとかヤリで、獲物をやっつけて食べていた」時代だよ。

きゅうせっきじだい
旧石器時代とは..



せっき えもの
人々は石器を使って獲物を狩って生活していた

旧石器時代では、獲物をもとめて移動する生活だった

旧石器時代、人々は獲物を狩って生活していたわけだけど、でも、冷蔵庫も無い大昔、お肉ってずっと保存出来るかな？

ずっとはとっておけないね。腐っちゃうよね。

ということは、旧石器時代の人々は食べものを「貯めておくこと」ができなかったので、常に食べ物を求めて「獲物を追う生活」を続けなきゃいけなかったんだ。

なので、このころの日本人は獲物を追って移動する生活をしていたよ。

だから、どんどん移動できるように、住むところも、決まったお家ではなく洞窟なんかにとりあえず住んだりしていたよ。

そんな中、人類が手にしたのが「土器」というスーパーアイテムなんだ。

土器が誕生したことで、時代は「縄文時代へ」と移うつり変わっていったんだよ。



土器が誕生して縄文時代がスタート

土器とは

「土器」は、粘土（ねんど・つちのこと）をこねて焼いた、硬かたい器（うつわ）のことだよ。

土器のおかげで人々の生活が激変！！

「土器」は、今のキミたちが使っている「ナベ」とか「フライパン」のような使い方ができるんだ。

土器が誕生したおかげで、人々は「食べ物を煮たり焼いたり」できるようになったんだ。

そうすると、硬い木の実を煮て柔らかくして食べたり、肉でハンバーグのようなものを作ったり、パンのようなものを作ったりできるようになったんだよ。

ということは、食生活（どんなものを、どう食べるのか）がガラリと変わったということ。

こうして、「いつも獲物を追いかける」生活から「食物を料理して保存できる」生活へ、つまり、

「一つの場所に落ち着いて住める生活」になったんだ。

土器が登場したことで、人々の暮らしが大きく変わったから、ここで区切って「時代が変わった」と考えるんだよ。

歴史では、大きな変化があるごとに「時代」として区切られるんだ。

なので、「縄文土器を使うようになった時代」から「縄文時代」と呼ぶんだね。



なぜ「縄文土器」というの？

では、なぜこの頃作られた土器を「縄文土器」と呼ぶのだろうか？

この頃作られた土器には、縄の文様（もんよう）がつけられていたので、縄文土器と呼ぶんだ。



こういうワケだった！

- 土器のおかげで食べ物を煮たり焼いたりできるようになった！
- 土器のおかげで、食べられるものが増えた！
- 狩りをしながら移動する生活から、落ち着いて決まった場所に住めるようになった！

縄文時代ってどんな時代？弥生時代との違いは？

縄文時代の次に習うことになる「弥生時代」と「縄文時代」の違いはハッキリ分かるかな？

縄文時代はどんな時代なのか、くわしく学習しよう！

縄文時代ってどのくらい昔なの？

縄文時代は、今から1万2000年ほど前に始まって、1万年近く続いたんだ。そんな昔のことが分かるのは、「遺跡（いせき）」のおかげだよ。

遺跡とは

遺跡というのは、その頃の人々が暮らしていた様子が残っている場所や建物のことだよ。

「遺(のこ)された跡(あと)」だから「遺跡」なんだね。

その頃の人々の暮らしていた様子が残っているんだから、その「昔の人々たちの生活がどんなだったか」を調べるのにピッタリだよ。

たとえば、「縄文時代の人々の生活がどうして分かったか」というと、遺跡から「縄文土器」が出てきたので、「この頃に土器が登場した」とか、「火を起こした跡の土のコゲ」から「土器を使って料理をしていた」



とか、「土を掘り下げた（掘ってくぼみを作ること）あと」から、この頃のヒトは「土を掘ってくぼみを作って、植物で屋根を作った「竪穴住居」に住んでいた」ということが分かったり、

「お墓のあとが沢山」あるので、「人の集団がそこで長いあいだ暮らしていた」ことが分かったりしたんだ。

遺跡を調べれば、その時代の生活や、その時代が何年くらい前か分かるんだよ。



君の部屋のゴミ箱から出てきたものを見れば、君が何をしたか、いつぐらいに何を食べたかが分かったりするでしょ(笑) 遺跡も、「その時代の人々が暮らしていた跡」だから、遺跡から出てくるものを調べれば、その時代の人々が何をして、何を食べていたか・・・などが分かるんだよ



縄文時代のことがわかる遺跡はどこ？

縄文時代の遺跡で日本で一番大きいものは、青森県にある「三内丸山遺跡」だよ。

この「三内丸山遺跡」は中学でもテストで出たりするから今覚えてしまおう。

語呂合わせを考えてみたよ。



縄文時代の遺跡では、「貝塚」というものが見つかった。

貝塚から出てきた食べ物のゴミ（貝殻や、動物の骨など）を見て、縄文時代の人々は貝や木の実、小さな動物を狩って食べていたことがわかってい

よ。



縄文時代の特徴は「みんな平等」！

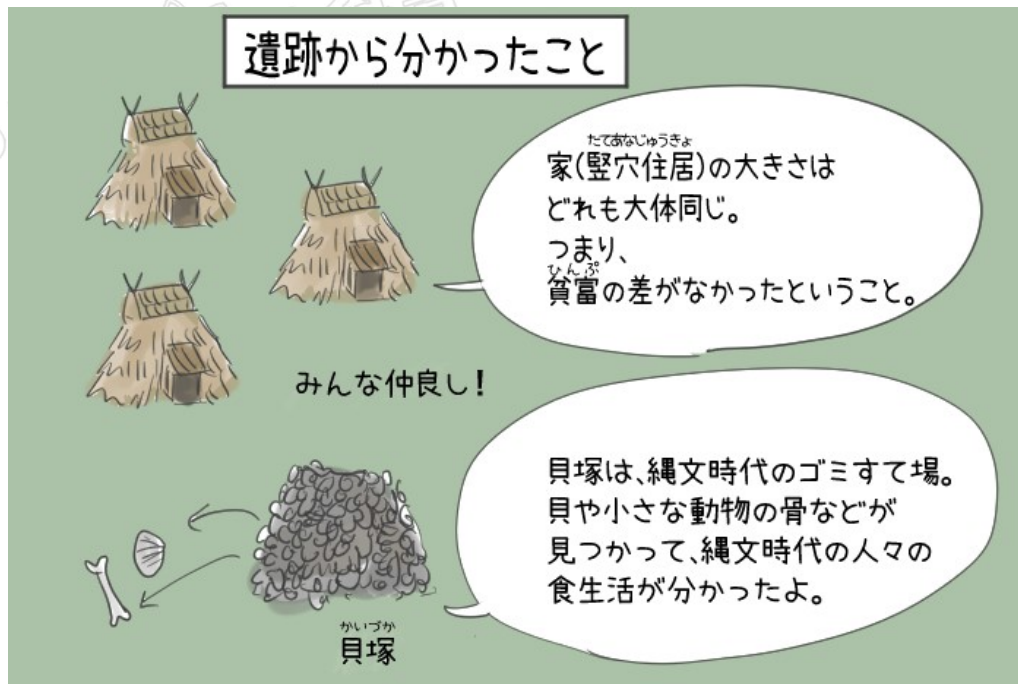
遺跡から、縄文時代の生活でわかったことが他にもあるよ。

まず、「家の大きさが皆だいたい同じ」ということ。

家の大きさに差がないということは、

「貧富の差」とか「偉い人」とかが無かったということなんだ。

縄文時代では、みんなが平等だったんだね。



この「みんなが平等だった」というのは、これから先に勉強する弥生時代との大きな違いだよ。

こういうワケだった！

- 縄文時代の特徴①「縄文土器を使っていた」
- 縄文時代の特徴②木の実や貝をとって煮たり焼いたりして食べていた
- 縄文時代の特徴③「みんな平等だった」



縄文時代6年生はここを押さえればOK!

縄文時代まとめ

※赤いキーワードは必ず覚えよう!

- 縄文時代の始まりは1万2000年前
- 縄文時代は1万年続いた
- 縄文土器が出来たことで、食生活が変わった
- 食生活が代わり、決まったところに住むようになった
- 竪穴住居に住んでいた
- 貝塚から、縄文時代に何を食べていたかがわかった
- 縄文時代の人々は、みんな平等だった
- 縄文時代の代表的な遺跡は青森県の「三内丸山遺跡」

ゆみねこの教科書

ゆみねこの教科書

